

あ、晴れ！おかもと国文祭

国民文化祭・おかやま2010 平成22年10月30日(土)～11月7日(日)

岡山県下で開催される「国民文化祭・おかやま2010」も11月になると後半に突入。総社市では、10月30日から開催中(11月7日(日)まで)の「美術展(日本画)」、11月3日(祝)には「シンポジウム『古代吉備の風景』」、11月7日(日)は「民話の祭典」と、まだまだこの文化の祭典を楽しめます。

11/3(祝) シンポジウム『古代吉備の風景』

市民会館

午後1時から4時30分まで

巨大古墳の築造をはじめ、大規模な製鉄や古代山城「鬼ノ城」の築造など、古代吉備は朝鮮半島との強いつながりがうかがえます。シンポジウムでは6人の研究者が、多くの謎や歴史ロマンにあふれる吉備の古代史をひも解き実像に迫ります。



基調講演
上田正昭(京都大学名誉教授)



コーディネーター
神崎宣武(民俗学者)



パネリスト
朴天秀(韓国・慶北大学教授)



パネリスト
武田佐知子(大阪大学教授)



パネリスト
上野誠(奈良大学教授)



パネリスト
亀田修一(岡山理科大学教授)



●パフォーマンス 吉備の黒媛～恋薫る吉備野の舞～

古事記に描かれている仁徳天皇と黒媛いにしえの古の恋物語を、花柳和あやきさんが“舞”で表現します。

花柳和あやき 東京生まれ。花柳流師範。国内外の舞台、CMやNHK大河ドラマ「太平記」にも出演。



スタンプラリーで 総社の物産などを当てよう！

第25回国民文化祭・おかやま2010の総社市開催の4事業のうち3事業以上のスタンプを押印した専用シートを、シンポジウム・美術展・民話の祭典の会場に設置する応募箱に入れてください。抽選で45人に総社市の物産などをプレゼントします。

専用シートは、市役所をはじめ、支所、出張所、公民館、シンポジウム・美術展(日本画)の会場にあります。

写真は民話を語る立石憲利さん。民話の祭典では、とりとして「ちゅんちゅん焼き」を語る。また、幕間で「民話とは」と題して、民話の意味や、場面を想像しながら聞くことなど、語りを楽しむポイントを立石さんが解説する

11/7(日) 民話の祭典

市民会館

午前9時30分から午後5時まで

県内の9団体、県外からの9団体の民話の伝承グループが出演。地域色豊かな民話の語りを中心に、紙芝居やパネルシアター、劇などでお話を披露します。保育園児が登場する芝居「岡山の桃太郎」や新本小学校全児童による「オペレッタ義民さま」もあります。

11/7(日)まで 美術展(日本画)

きびじアリーナ

いずれも午前9時30分から午後5時まで(10月30日から開催中。最終日は午後4時まで)

全国公募で選ばれた日本画(水墨画を含む)の優秀作品を展示。日本画の美を存分に堪能できます。また、第8回雪舟の里総社墨彩画公募展の入選作品も合わせて展示します。

問い合わせ 第25回国民文化祭総社市実行委員会事務局(☎92-3491、総合文化センター内)